

# 射水市新庁舎建設基本設計業務プロポーザルの審査経過及び講評

## 1 審査経過

今回の設計者選定に当たっては、参加資格及び参加条件を満たした参加表明者9者から提出された技術提案書等について、以下のとおり審査を行いました。

### (1) 第一次審査（平成24年3月15日）

提案者名を伏せた技術提案書等9案について、業務の実施方針や課題に対する提案内容を中心に意見交換し、事務所や技術者の経験、実績等も含めて総合的に審査を行った結果、ヒアリングの対象として3案を選出しました。

### (2) 第二次審査（平成24年3月23日）

第一次審査で選出した3案の提案者名を伏せ、各管理技術者等から詳細説明を受け、引き続き質疑応答を行いました。その後の審査で1案ずつ特徴や問題点等を意見交換し、慎重に審査を行った結果、最優秀提案者及び優秀提案者各1者を全会一致で選定しました。

## 2 選定結果

最優秀提案者 株式会社 佐藤総合計画

優秀提案者 株式会社 山下設計

## 3 審査講評

### (1) 総評

今回のプロポーザルは、射水市新庁舎整備基本構想に基づき、限られた敷地に将来の規模縮小や都市公園等の周辺環境にも配慮して設計建設するという難しい条件下で

敷地及び建築計画について

高水準の災害対策について

建設コスト及びライフサイクルコストの低減について

環境負荷の低減や建設地の立地特性への配慮について

利用しやすい窓口空間について

の5つの課題に対して提案を求め、かつ検討期間が限られたものであったにもかかわらず、各者熱意のこもった取組と優れた提案をいただきました。

ご参加をいただいた提案者の皆さまには、真摯にご努力をいただき、心より感謝申し上げます。

審査の過程では、あらかじめ提示した要求条件に対する提案の的確性・独創性・実現性を総合的に判断しながら、各提案の良い点、欠点等について委員全員で意見交換を行いました。

特に第二次審査の対象とした3案については、いずれもコンパクトで分かりやすい

平面配置で、将来の組織変更への対応にも配慮されていました。それぞれに一長一短があり、非常に難しい審査となりましたが、ヒアリング内容や提案書を通して、提案チームの力量や対応の多様性、柔軟性についても十分な議論を重ね、上記選定結果のとおり選定しました。

以下、第二次審査の対象となった個々の提案の特徴に触れ、選評とします。

## (2) 選評

### **(株)佐藤総合計画：最優秀提案者**

5階建の庁舎を敷地南側に配置し、雁木づくりに似た縁側空間「いみずテラス」を設けることで公園側に市民開放スペースを展開するなど公園との連続性にも配慮した案。

建物の形状を正方形として四方正面の表情をつくりつつ、執務ゾーンを口の字構成とし、分かりやすく柔軟性のある平面配置が高く評価されました。

駐車場の配置計画では、20台の平面駐車場のほか、敷地北側に2階建の立体駐車場を置き、ややコスト増要因ではあるものの、来庁者用を1階にすることで来庁者の利便性に配慮している点で一定の評価がありました。

そのほかにも、周辺交通への影響に配慮して東側の市道からのアクセスとしている点、市民の利用度が高い窓口サービスを1階に集中配置している点、45m×45mの単純な建物形状を採用するなどコスト配分に配慮している点なども評価を受けました。

外壁のダブルスキン構造の有効性、3つに分割されたエコポイドの機能性、井水利用の妥当性など、さらなる検討を要する点があるものの、今後の詳細検討において多様な対応が期待できる柔軟性を持った提案者であると判断し、全会一致で最優秀提案者として選出しました。

### **(株)山下設計：優秀提案者**

敷地南側に4階建ての矩形形状の建物を配置し、建物中央には採光・通風のための吹抜空間を確保する計画で、(株)佐藤総合計画と類似した特徴を持った案。

低層階ほど大面積が必要である点に着目して、上階に行くに従ってひな壇状に広がる吹抜け空間「だんだん広間」を設け、採光・通風を確保するだけでなく全館の見通しを良くする階構成に相応の評価があったほか、コの字の連続した空間構成とした執務ゾーンはフレキシビリティの面で評価を受けました。

また、防災拠点として、周辺施設との一体的運用を提案するなど災害対策に関する提案についても相応の評価がありました。

しかし、地下駐車場の提案に対しては、水害対策やコスト増の問題点が指摘され、ヒアリングにおいてもその疑問点が払拭されなかったほか、「だんだん広間」については、防火区画等、実現に向けて法的に難しい点や断面図のスパン割と平面図のス

パン割の整合性に疑問があり、柱が露出するなどパースのような開放的な雰囲気にはならないのではないかという指摘があるなど、残念ながら次点（＝優秀提案者）扱いとなりました。

#### **(株)新居千秋建築都市設計**

5階建の庁舎を敷地西側に寄せて配置し、庁舎西側の公園敷地に「緑の丘」をつくり借景として取り込むなど公園再整備エリアと一体的に計画した案。

執務ゾーンを柱スパン 17.5mの無柱空間とし、将来の組織変更にも対応しやすい矩形空間としている点、建物中央に区画した屋内外 2重の吹抜空間「エコロジー・ダブル・ヴォイド」、窓メンテナンスの省力化に配慮したバルコニー「エコロジー・ウォール」などに相応の評価がありました。

しかし、南側道路からのアプローチによる周辺交通への影響、ピロティを設けることによる 1階の窓口・待合スペース不足の問題、執務ゾーンを東西に配置することによる空調負荷や執務環境の問題などを指摘する意見がありました。

公園再整備エリアも一体的に計画する積極的な提案に一定の評価はあったものの、その一方で庁舎敷地外の「緑の丘」をコンセプトの主としている点を問題視する意見もあり、上述の問題点の解決見通しも含め、選外扱いとなりました。

平成 24 年 3 月 30 日

#### 射水市新庁舎建設基本設計候補者選定委員会

委員長	貴志 雅樹	(富山大学芸術文化学部教授)
副委員長	円満 隆平	(金沢工業大学環境・建築学部教授)
委員	竹林 正宏	(富山県土木部営繕課長)
〃	泉 洋	(射水市副市長)
〃	宮嶋 昇	(射水市都市整備部長)